

## 審査経過及び講評

所沢市市民医療センター再整備工事設計業務委託  
事業者選定委員会

### 1 委員構成

委員長	黒木 康富	市民医療センター長
委員	市川 博章	経営企画部長
委員	越智 三奈子	健康推進部長
委員	遠藤 弘樹	街づくり計画部長
委員	肥沼 宏至	建設部長
委員	東 賢治	市民医療センター医務部長
委員	市川 勝也	市民医療センター事務部長

### 2 日程

令和6年4月17日(水)・・・公募型プロポーザル実施要領等の公表  
令和6年4月26日(金)・・・参加表明に関わる質疑締切  
令和6年5月 8日(水)・・・参加表明に関わる質疑回答  
令和6年5月16日(木)・・・参加表明書受付締切  
令和6年5月23日(木)・・・参加資格確認結果の通知、技術提案の要請  
令和6年5月30日(木)・・・技術提案書作成に関わる質疑締切  
令和6年6月 7日(金)・・・技術提案書作成に関わる質疑回答  
令和6年6月20日(木)・・・技術提案書受付締切  
令和6年7月 5日(金)・・・一次審査  
令和6年7月 9日(火)・・・一次審査結果の通知  
令和6年7月19日(金)・・・二次審査(ヒアリング等)  
令和6年7月23日(火)・・・二次審査結果の通知

### 3 審査経過

所沢市市民医療センター再整備工事設計業務委託事業者を適正かつ公平に選定するため、所沢市市民医療センター再整備工事設計業務委託事業者選定委員会を設置し、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行った。

#### 【参加資格確認】令和6年5月23日(木)

- ・令和6年5月16日(木)に参加表明書の受付を締め切り、5社から参加表明書の提出があった。
- ・参加表明書の提出があった応募者に対して、公募型プロポーザル実施要領の「4参加資格」に沿って要件を確認し、すべての応募者が参加資格を満たしている事を確認した。

#### 【一次審査】令和6年7月5日(金)

一次審査においては、事務所評価、担当チーム評価、追加提案、業務の実施方針及び技術提案書の内容、価格評価について審査を行い、上位3社を一次審査通過者として選定した。  
なお、選定にあたっては、匿名性を確保するため、社名は伏せて審査を行なった。  
評価の概要は以下のとおりである。

#### (1) 事務所評価

- ・病院設計の実績は応募者全てが4件以上の実績を有しており差がなかったが、一級建築士の

技術者数において、最高得点者と最低得点者について、3点の差がついた。

(2) 担当チーム評価

- ・担当チームの評価は最高得点者と最低得点者について、7点の差がついた。管理技術者及び総合主任技術者の実績、電気設備主任技術者及び機械設備主任技術者の技術者資格により差がついた結果であった。

(3) 追加提案評価

- ・追加提案は最高得点者と最低得点者について、1点の差がついた。最高得点者の提案には、コスト管理担当やゼロカーボンシティの実現に向けて CASBEE 評価員の有資格者等を配置する提案があった。

(4) 業務の実施方針及び技術提案書の内容について

**【業務の実施方針】**

- ・実施体制として、コストコントロールを行うスタッフの配置や、建築審査会対策としてのスタッフ配置について提案されていた。
- ・特に重視する設計上の配慮事項については、コストマネジメントに関する提案が各社共通してあった。

**【提案テーマ1: 建築許可を見据えた周辺環境への配慮と、外構を含めた新病院のコンセプト、配置イメージについて】**

- ・建物配置については、限られた建替えスペースの中、既存樹木の活用、建物のセットバックや形状の工夫など、敷地周辺の住民へ配慮した提案がされていた。
- ・外構計画では、安全・安心で利用しやすい敷地内動線や、憩いの空間等が提案されていた。

**【提案テーマ2: 効率的な病院運営を可能とする動線計画や部門配置とともに、将来の病院機能の変化や災害に対応できる施設整備について】**

- ・動線計画や部門配置については、病院利用者と職員動線の分離等、療養環境向上のための工夫や、業務効率が高まる動線計画が提案されていた。
- ・特に病棟においては、各社、看護動線短縮に向けた病棟形状を提案されていた。
- ・感染対策については、動線及び感染対応エリアの明確化、感染拡大時の対応について提案されていた。
- ・災害対策については、施設内・施設外の対応について、提案されていた。

**【提案テーマ3: 病院スタッフの意見集約・合意形成の手法と、それによる患者に信頼されスタッフが魅力を感じる施設整備について】**

- ・意見集約については、各社、認識の共有方法として、3D や VR 等の活用が提案されていた。
- ・円滑な合意形成に向けて、対話を重視する提案が多かった。
- ・患者に信頼される施設整備として、見通しの良い施設づくりや、ユニバーサルデザインにつ

いて、提案されていた。

- ・スタッフが魅力ある施設整備について、スタッフ commons の具体的な内容等が提案されていた。

**【提案テーマ 4：再整備基本計画を踏まえたうえで、設計者独自の自由提案について】**

- ・設計者独自の提案として、コスト削減方法や環境対策（ZEB 取得等）等の提案があった。
- ・特にコスト削減方法について、既存の地下躯体を活用した提案があった。

(5) 価格評価について

- ・価格評価は最高得点者と最低得点者について、10 点の差がついた。

(6) 一次審査通過者を 3 社とした理由

- ・75%以上（90 点以上）を基準として、一次審査通過者を選定した。

(7) 一次審査結果

	評価点	審査結果
A 社	99.6 点	一次審査通過
B 社	87.6 点	
C 社	103.0 点	一次審査通過
D 社	80.6 点	
E 社	90.9 点	一次審査通過

## 【二次審査】令和6年7月19日（金）

- ・一次審査を通過した3社に対し、令和6年7月19日（金）に二次審査のヒアリング（技術提案書の説明20分+質疑応答20分）を実施した。
- ・二次審査においては、ヒアリングによる管理技術者、総合主任技術者の積極性・意見集約力・コミュニケーション能力の評価を追加し、総合的に一次審査の結果を見直した。
- ・ヒアリング実施後に、選定委員会を開催し、優先交渉権者及び次点交渉権者を決定した。

### （1）優先交渉権者の決定方法

- ・各委員により「評価項目一覧表」に沿って審査を行った。
  - ・全委員の評価点を集計し、集計結果及び分析結果について確認し、優先交渉権者及び次点交渉権者を決定した。
- なお、選定にあたっては、匿名性を確保するため、社名は伏せて審査を行なった。

### （2）二次審査結果

	評価点	審査結果
A社	134.0点	優先交渉権者
C社	132.7点	次点交渉権者
E社	121.6点	

以上の結果、優先交渉権者及び次点交渉権者を下記のとおり決定した。

**優先交渉権者** : 株式会社 内藤建築事務所 東京事務所

**次点交渉権者** : 株式会社 伊藤喜三郎建築研究所

### （3）全体講評

- ・二次審査においては、プレゼンテーション及びヒアリングによって、管理技術者及び総合主任技術者の人物像・コミュニケーション能力を中心とした審査を行った。
- ・各社のプレゼンテーションは非常に分かりやすく、技術提案書の内容による評価項目は、再評価により一次審査よりも全体的に高まる結果となった。
- ・各社とも、本事業の課題や制約について十分に理解し、それらを解決するアイデアや取組など、総じて水準の高い提案がなされた。
- ・質疑回答において、担当者の熱意や積極性、特に柔軟性において、評価に差が生じた。

### （4）個別講評

【優先交渉権者】 **A社** 株式会社内藤建築事務所 東京事務所

- ・西側近隣に配慮した建物形状や、建物中央に設けられたスパイラルリンクは、建設コストや使い勝手の点で懸念はあるものの、限られた敷地や現病院建物の課題解決に向けた優れた提案であった。
- ・実施体制及び担当者評価として、管理技術者、総合主任技術者とも、病院の意向や住民への配慮を尊重し、設計に反映できる人物であることを、ヒアリングで確認した。
- ・病棟においては、スタッフステーションのカウンターに面して病室を配置し、見守りやすい病棟とし、看護動線の短縮が図られた提案であった。
- ・外構計画について、エコ&ウェルネスパークとして、地域の歩行者が気軽に利用でき、所沢市の環境への取り組みをアピールできる等の提案がされていた。一方で、限られた敷地

- の中で駐車場の確保を優先すべきとの意見があった。
- ・既存地下躯体を再利用し、コスト面や工期を効率的に運用する提案があった。

【次点交渉権者】 **C社** 株式会社伊藤喜三郎建築研究所

- ・基本計画をふまえ、合理的な動線や景観への配慮などバランスよくまとめられた提案であった。
- ・実施体制については、現地建替の経験が豊富なメンバー構成や、建築審査会協議の経験者を配置するなどの提案があった。
- ・病棟は、見守りやすいホール型病棟と、感染管理を行いやすいウィング病棟を有す実現性の高い提案がされていた。
- ・また、周辺住宅環境を考慮した小さなボリュームが連続した形状や、視線や西日対策を目的とした壁面の作り方、防災計画を踏まえた外構計画等、全体的に評価された提案であった。
- ・一方で、西側からの車両動線を確保する場合の建物配置計画の提案に課題が見られた。

**E社**

- ・提案項目数が最も多く、意欲的な提案であった。
- ・実施体制については、仮設・施工・解体計画を立案できる技術者を配置するなど、既存病院に隣接した建替え工事に対応した提案があった。
- ・病棟において、効率的な運用を目的とした、4床室を設けない（個室と2床室の構成）病室構成が提案されていた。
- ・また、既存躯体を活用した駐車スペースの提案や、ZEBready 取得目標など、コスト縮減や環境に対する提案があった。
- ・一方で、諸室構成や災害時の対応など、本病院の役割や特性に対する提案内容の有効性に評価の差が生じた。